



# 読書界 5月号

## 「ワクワクする話」

### 『空飛ぶ広報室』 有川浩

戦闘機パイロットの主人公、空井大祐の夢はブルーインパルスに入ること。叶はずだったその夢を突如断たれた大祐が、配属された航空自衛隊広報室で日々成長していくお話です。たくさんの人々との出会いを通して、新たな夢を見つけ、形にしていく姿に、ページをめくる手が止まらなくなるはず。夢や目標を見失ってしまった人にぜひ読んでもらいたい一冊です。思い通りにならないこともあるけれど、「なりたいたいものになれなくなっても別の何かになれる。」きっとそんなことをあなたに教えてくれます。

3-1 石上ひかる

### 『都会（まち）のトム&ソーヤ』 はやみねかおる

塾通いに追われる平々凡々な中学生の内人は、ある夜、謎の同級生の竜王創也のあとをつけて行った。その先で内人を待ち受けていたのは畏だらけの“砦”。その日から、内人の退屈な日常が変わり始める。創也は“砦”で一体何をしているのか。内人が知った創也の秘密とは…？都会のど真ん中、内人×創也の最強コンビの繰り広げる冒険から、きっと目が離せなくなる。何回読んでも魅力の尽きない本です。久しぶりにわくわくしたい！という人にオススメ。

二人と冒険を始めてみませんか。

3-6 伊川千颯

### 『ダレン・シャン』 ダレン・シャン

この本は人間とバンパイアとの世界を描いた物語になっています。自分がこの本を読み始めたのは中学生の時でした。当時、本はあまり読まなかった自分は、友達に勧められた「ダレン・シャン」という少し厚みのある本に抵抗がありましたが、その本を読み進めていくと独特な世界観に引き込まれ、あたかも自分が本の中の世界に存在しているかのように感じる事が出来ました。本の魅力に気付き始めたのも、この時からでした。

ぜひ、この世界を体験してみてください。

2-7 林 凌雅

### 『ここはボツコニアン』 宮部 みゆき

推理小説で有名な宮部みゆきさんの、まさかのSFファンタジー。舞台はなんとゲームの世界！？個性的なキャラクター（作者を含む）が繰り広げる会話は、おもしろいこと間違いなし。人は一切殺されません！

ファンタジー好きはもちろん、ゲーム好きにもおすすめの一冊です。

1-1 大田 葉子